

幼児・小学生
に向けて

地域と一体となった 子どもたちへの交通安全啓発

活動テーマ

「止まる」「見る」を
軸とした
体験教育を提供

2009年の主な活動

2月 ●三重県の新入学を祝うよい子のつどいにて「あやとりい ひよこ編」を開催

3月 ●熊本県、大分県各地区にて「親子交通安全教室」を開催（～11月）
●京都府「わたしのしごと館」にて動画KYTを使用した子ども向け「交通安全教室」を展開

4月 ●熊本県、栃木県の小学校にて「あやとりい」教室を開催（～11月）

5月 ●東京都でのWE RIDE チャレンジ三宅島'09モーターサイクルフェスティバル in お台場にて「親子でバイクを楽しむ会」を開催

7月 ●埼玉県でのソニックシティ大宮ちびっ子広場2009にて「親子交通安全教室」を開催
●静岡県の小学校にて「自転車交通安全教室」開催（～11月）

8月 ●東京都でのキッズデザイン博2009にて「親子で楽しめる交通安全ワークショップ」を開催、Honda自転車シミュレーターを出展
●東京ビッグサイトで開催された「第44回交通安全子供自転車全国大会」にHonda自転車シミュレーターを出展
●茨城県にて「あやとりい ひよこ編」「あやとりい」指導員育成研修を開催

10月 ●熊本県でのカントリーゴールド2009にて「親子でバイクを楽しむ会」を開催
●栃木県、三重県、佐賀県のバルーンフェスタにて「親子でバイクを楽しむ会」を開催（～11月）

よき交通社会人となるための資質は、運転免許を取得してドライバーやライダーとなったときにはじめて身につけるのではなく、幼児期からの成長段階に合わせた交通安全教育によって養われます。こうした考えのもと、Hondaは子どもたちへの交通安全教育を行ってきました。そして、交通社会の入り口にいる子どもたちの交通安全教育は、保護者、学校の先生、地域の交通安全指導員の方々と一緒に取り組むことが大切だと考えています。

親子で一緒に見て学ぶ「親子交通安全教室」

地区普及ブロックでは、週末などを利用して親子で楽しく交通安全を学ぶことができるイベント「親子交通安全教室」を、自治体や関係諸団体、関連企業と協力して開催しています。例えば熊本普及ブロックでは、「熊輪会」※¹とともに、市町村、警察、学校などと連携し、子どもが歩行中、自転車乗中に遭遇しやすい事故事例を再現。人形を使った歩行者の飛び出しや自転車の左折巻き込みなどの実験を行ったり、四輪車から見た死角の範囲の広さをわかりやすく説明しています。親子で「見て」「聞いて」気づきを促すプログラムは、子どもにもわかりやすいと参加者に好評です。



親子交通安全教室は幼児から小学校低学年の子どもとその保護者の方が対象
（熊本普及ブロック）



左折するトラックに巻き込まれる事故を再現
（熊本普及ブロック）



四輪車から見た死角の範囲をわかりやすく説明
（熊本普及ブロック）

子どもの成長に合わせた交通安全教育

交通安全教育プログラム「あやとりい」※2はHondaが三重県鈴鹿市と協力して開発したもので、成長に応じ三つのプログラムがあり(詳細は — すべての人の安全をめざして — P6・7参照)、今年も自治体や小学校、幼稚園、警察署と連携して全国各地で333回開催し、約6万人(10月末現在)の方にご参加いただきました。鈴鹿普及ブロックでは教育効果を高めるため、一歩進んだ取り組みを展開しています。「あやとりい ひよこ編」では、幼稚園・保育園周辺の道路を幼児と一緒に歩いて、教室で学んだことを実践してもらえるようにしています。また、「あやとりい 自転車教室」では小学生に自転車で公道を走行してもらい、実際の交通場面に応じたアドバイスを行っています。

さらに、今年は教育現場でより手軽にご活用いただけるよう、12時間分の授業内容で重要なポイントを1時間にまとめた小学3・4年生対象の「あやとりい」のダイジェスト版を作成しました。

現在、地区普及ブロックでは「あやとりい」のダイジェスト版を活用して、地域の子どもたちを対象にクルマは急に止まれないことや、止まる・見ることの大切さを実験を通じて気づいてもらうという安全教室を実施しています。また、地域の交通安全指導員などを対象に、「あやとりい」の指導方法を伝える研修も実施し

ています。今年8月には、茨城県主催の「幼児交通安全教育指導者講習会」において、地区普及ブロックのインストラクターが幼稚園教諭や保育士、交通安全指導員を対象に「あやとりい ひよこ編」の実演を交え、効果的な指導方法を説明しました。

こうした活動を通じて、さらに多くの地域に「あやとりい」を普及させるための体制づくりを強化していきます。

より多くの子どもたちに伝えるために

Hondaでは、より多くの子どもたちに交通ルールやマナーの重要性を知ってもらうため、子どもが集まるイベントでの啓発活動も積極的に展開しています。

その一つが「親子でバイクを楽しむ会」。保護者が先生となって、子どもにバイクの操作方法や交通ルール、マナーの大切さを伝えていく中で、親子の絆を深めていただけるような内容となっています。今年も、お台場(東京都)、大宮(埼玉県)をはじめバルーンフェスタなど各地のイベントで開催しました。

また、今年8月に新たに出版した「キッズデザイン博2009」では、「親子で楽しめる交通安全ワークショップ」を行い、「Honda交通安全かるた」や「Honda自転車シミュレーター」を使って、子どもたちに楽しみながら交通ルールを学んでいただきました。



未就学児を対象に行っている「交通安全キャラバン」では、トレーニングを積んだプロの俳優が幼稚園や保育園を訪問し、「あやとりい ひよこ編」を活用した交通安全教室を開催



「あやとりい ひよこ編」を使用した幼稚園での交通安全教室(鈴鹿普及ブロック)



「あやとりい ダイジェスト版」を使用した小学校での交通安全教室(栃木普及ブロック)



「Honda交通安全かるた」を題材にした交通安全ワークショップ(本部推進ブロック)



お台場での親子でバイクを楽しむ会(埼玉普及ブロック)



沖縄での親子でバイクを楽しむ会(熊本普及ブロック)

※1 九州各地のHonda協力会社38社からなる組織。

※2 あんぜんを・やさしく・ときあかし・りかいして・いただくの略。幼児向け「あやとりい ひよこ編」、小学3・4年生向け「あやとりい」、小学生対象の「あやとりい 自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者向け「あやとりい 長寿編」があります。